

2019 年度 入学 試験 問題

日本史 B

(試験時間 14:50~15:50 60分)

1. この問題冊子が、出願時に選択した科目のものであることを確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙には、記述解答用紙とマーク解答用紙の2種類があります。
3. 解答は、必ず解答欄に記入およびマークしてください。解答欄以外への記入およびマークは無効となります。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。特に、マーク解答用紙には鉛筆のあとや消しくずを残さないでください。
5. 解答用紙を折り曲げたり、汚したりしないでください。また、マーク解答用紙を記述解答用紙の下敷きに使用しないでください。
6. 解答用紙には、必ず受験番号と氏名を記入およびマークしてください。
7. マーク解答用紙への受験番号の記入およびマークは、コンピュータ処理上非常に重要なので、誤記のないようにしてください。
8. 一度記入したマークを修正する場合、しっかりと消してください。消し残しがあると、マーク読み取り装置が反応して解答が無効となることがあります。

I 次の1と2の文章を読み、それぞれの設問に答えなさい。解答は、漢字を用いるべきところは正確な漢字で記述解答用紙の所定の解答欄に記入しなさい。選択問題についてはマーク解答用紙の記号をマークしなさい。(24点)

1 旧石器時代には、主たる道具として石器が用いられていた。ナウマンゾウやオオツノジカ・ヘラジカなどの大型獣を狩猟するための石槍としてナイフ形石器や尖頭器などの石器を木製と考えられる柄につけて使ったと推定される。旧石器時代の終わり頃には、シベリアから中国東北部と共通する、 とよばれる、刃の部分を取り替えられるように工夫された、槍先に用いられる細長い石器が特徴的に製作された。これらの石器の原材料として、黒曜石などが用いられた。

縄文時代の始まりは、地質年代として温暖化した完新世に移行する時期にあたる。縄文時代のもっとも古い段階は草創期と時期区分され、土器や弓矢の出現が大きな特徴である。土器は、無文土器がもっとも古い。その次に出現した、土器のモデルとなった籠などの形を模している可能性がある丸底の器形の隆起線文土器^①が、九州島から本州島に広域に分布する。次の縄文時代早期の段階には底が尖った土器に縄文が施文されるもの^②が多くなり、釣針が出土していることで有名な夏島などの遺跡が出現する。縄文時代前期以降、クリなどの植物利用が発達し、三内丸山遺跡に代表されるような、多数のが居住施設として営まれる定住的集落が存在する。また、定住生活の拡大に伴って平底の土器が一般的となっていく。縄文時代中期はもっとも縄文文化が栄えた時期といわれ、立体的な装飾を持った土器^③が多く作られる。明治時代にモースが発見し、近代考古学の始まりとなった大森に代表される縄文時代後期には平面的な装飾を持ちそれまでの深鉢の形のみでなく注口土器など多様な形の土器^④が発達している。晩期の終わり頃になると、九州の菜畑遺跡や板付遺跡などにおいて水田が出現する。なお、水田の出現をもって弥生時代と考える立場の考古学者は、菜畑遺跡・板付遺跡の水田出現以降を弥生時代早期とよぶ。その頃の東北地方においては、精緻な装飾の壺や台付きなどの器形^⑤が豊富となる縄文土器や遮光器土偶で知られる亀ヶ岡文化が栄えており、日本列島に異なる文化が併存していたことが知られるようになってきた。

次第に水田稲作を基盤とした弥生文化が九州島から本州島に拡がり、各地でムラ

とムラとの戦争が始まるとともに、農耕が伝播してきた故地である朝鮮半島を通して金属器なども伝来し、在地の縄文系の人々は渡来系とよばれる大陸から来た人々と融合していったと考えられる。弥生土器では、文様などによる装飾性を排し、種籾などを貯蔵する土器や神に供えるような儀器的な使い方が考えられる土器など、さまざまな器種分化が発達していく。弥生土器の系譜は、古墳時代にも素焼きの D として日常的な土器類に受け継がれるが、古墳時代中期には新しい技術による須恵器が出現し、次第に日本列島の各地で生産されるようになっていく。^⑦

問1 空欄Aに入る名称を記しなさい。

問2 空欄Bに入る名称を漢字で記しなさい。

問3 空欄Cに入る名称を漢字で記しなさい。

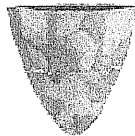
問4 文章中の下線部①～⑤に示した縄文土器の変遷について、a～eの土器を古い方から順番に並べなおしたものとして、適切な組合せを次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。



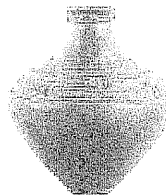
a



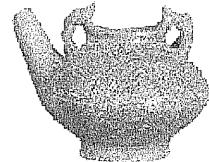
b



c



d



e

ア. a→b→c→d→e

イ. a→c→b→d→e

ウ. b→c→a→e→d

エ. c→b→a→e→d

オ. e→d→b→a→c

問5 文章中の下線部⑥に関する土器に含まれる種類の土器として不適切なものを、次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 米を煮炊きするのに用いる甕形の土器。
- イ. 種粃を貯蔵するのに用いる口が開いた壺形の土器。
- ウ. 神に供えるためなどに用いたと考えられる高坏形土器。
- エ. 登り窯を用い高い温度で焼成された脚付壺形土器。
- オ. 墓に供えるために作られた筒形の特殊器台。

問6 空欄Dに入る名称を漢字で記しなさい。

問7 文章中の下線部⑦の土器についての説明として適切なものを、次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 各地の前方後円墳からは須恵器の人物・動物埴輪が出土する。
- イ. 摂津の陶邑窯で作られた須恵器の壺が箸墓古墳から発見された。
- ウ. 5世紀頃に朝鮮半島を通して製作技術が伝わった。
- エ. 中世においても瀬戸内海においては製作が継続し、唐津焼とよばれた。
- オ. 窯を用いて高温で焼成し、三色の釉で模様が描かれている。

2 日本に最初に作られた本格的な都城は といわれる。その後、平城京に遷都される。九州で藤原広嗣が吉備真備や玄昉らの排除を求めて反乱を起こすと、聖武天皇は恭仁京・難波宮・紫香楽宮などを転々とした。乱れた政治情勢や飢饉などによる不安が社会に拡がる中で、聖武天皇は仏教による鎮護国家の思想を顕現しようと、741（天平13）年に の詔、743（天平15）年には大仏造立の詔を出した。奈良では南都六宗と呼ばれる学派が形成され、華嚴宗の良弁は東大寺建立に活躍した。奈良時代の仏教は、やがて現世利益を求める風潮が強まっていくなど変質していき、さらに仏教の政治化をきらって大寺院を離れ、山林にこもって修行する僧たちが出て平安時代の仏教の母体となっていった。

桓武天皇は、784（延暦3）年に山背国乙訓郡の に遷都するが、藤原種継が暗殺され、首謀者とされた早良親王が自殺すると、その怨霊への恐れもあって、794（延暦13）年に平安京に再遷都をおこなった。

東北地方では、780（宝亀11）年に反乱を起こした が多賀城を焼くなど騒乱が相次いでいた。桓武天皇は、東北地方の蝦夷の制圧を進めるために紀古佐美を派遣するなど東北経営に力を入れた。しかし、平安京の造営と相まって国家財政の疲弊を招いたため、藤原緒嗣と菅野真道との間でおこなわれた とよばれる議論を裁定し、二大事業の停止を決断した。

問8 空欄Eに入る名称を漢字3文字で記しなさい。

問9 空欄Fに入る名称を記しなさい。

問10 空欄Gに入る名称を漢字3文字で記しなさい。

問11 空欄Hに入る人名を漢字5文字で記しなさい。

問12 空欄Iに入る名称を漢字4文字で記しなさい。

Ⅱ 次の1と2の文章を読み、それぞれの設問に答えなさい。解答は、漢字を用いるべきところは正確な漢字で記述解答用紙の所定の解答欄に記入しなさい。選択問題についてはマーク解答用紙の記号をマークしなさい。(26点)

1 10世紀後半から11世紀頃にかけて最盛期を迎えた摂関政治では、摂関家が官吏の人事権を掌握していたため、摂関家を頂点とする上級貴族に中下級貴族が隷属する体制が生じ、やがて家柄を表わす家格や官職が貴族社会において固定化されて子孫に継承された。朝廷はこうした状況を踏まえて運営されるようになり、11世紀後半に始まった院政にも受け継がれたが、当時の朝廷の支配下では、律令の系譜を引く 法が効力を持ち、荘園領主が自らの荘園に適用する 法とともに、中世の法制度として影響力を保った。

一方、12世紀末に成立した鎌倉幕府では、源氏将軍の滅亡や承久の乱を経て、有力な御家人たちによる合議制に基づく政治が行われた。特に、1232年に制定された御成敗式目(貞永式目)は、源頼朝以来の先例や、当時の言葉で と呼ばれた関東地方を中心とする東国の武家社会における慣習・道徳を重視して、守護・地頭の職務や御家人をとりまく紛争を裁く基準を明示しており、^③武家による最初の整った法典となった。

また、御成敗式目には、「^④兼て又所々の下司庄官以下、其の名を御家人に仮り、^①国司・領家の下知を対捍すと云々。然るが如きの輩、^②守護役を勤むべきの由、縦ひ望み申すと雖も、一切催を加ふべからず。早く右大将家御時の例に任せて、^③大番役并に謀叛・殺害の外、守護の沙汰を停止せしむべし。」と記されており、地方支配に関する幕府と朝廷や荘園領主との関係についても定められた。

問1 空欄Aに入る適切な語を漢字2文字で記しなさい。

問2 空欄Bに入る適切な語を漢字2文字で記しなさい。

問3 下線部①について、当時の状況を説明した適切な文章を、次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. 式目制定に際して、前將軍藤原頼経が京都に追放され、執権北条氏を中心に幕府の政治が安定して運営されるようになった。

イ. 式目制定の前年には、寛喜の大飢饉が発生しており、社会不安による紛争の増加が制定の背景となった。

ウ. 執権北条泰時と連署北条重時に加えて、北条氏一門を中心とした評定衆が署名して、式目が制定された。

エ. 式目制定に際して、執権北条泰時が六波羅探題北条時房に送った書状により、制定の趣旨をうかがうことができる。

オ. 式目制定の前年には、執権が北条義時から北条泰時に継承されており、幕府の運営における泰時の求心力を高めるために制定された。

問4 空欄Cに入る適切な語を漢字2文字で記しなさい。

問5 下線部②に関する次の出来事a～eについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

a. 謀叛人の追討のため、諸国に惣追捕使・国地頭が置かれるとともに、荘園や公領には地頭が置かれ、1段当たり5升の兵糧米が徴収された。

b. 地方武士を戦乱に動員するため、大犯三カ条に加え、刈田狼藉の取り締まりや裁判の判決を強制執行する使節遵行など、守護の権限が大幅に拡大された。

c. 各地で成長した武士団の一部を荘園や公領の地頭に任命し、西国一帯の武士を家人化することに成功した武家政権が誕生した。

d. 朝廷と幕府との間で起きた戦乱の後、1段当たり5升の加徴米徴収など新補率法が適用される新補地頭の制度が定められた。

e. 九州地方の御家人に北条氏の所領から地頭職を与え、彼らを異国警固番役に動員するとともに、九州地方の守護の一部を北条氏一門や得宗の親族に変更した。

ア. $b \rightarrow c \rightarrow e \rightarrow a \rightarrow d$

イ. $c \rightarrow b \rightarrow e \rightarrow a \rightarrow d$

ウ. $a \rightarrow c \rightarrow b \rightarrow e \rightarrow d$

エ. $c \rightarrow a \rightarrow d \rightarrow e \rightarrow b$

オ. $c \rightarrow e \rightarrow b \rightarrow d \rightarrow a$

問6 下線部③に関する説明として、適切な文章を次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. 御成敗式目の制定に深く関わった北条泰時は、式目を律令の規定に代わるものとし、鎌倉幕府の御家人のみならず、公家や寺社にも式目に従うよう促した。

イ. 室町幕府を開いた足利尊氏は、御成敗式目の内容を大幅に変更する建武式目を制定し、御成敗式目に代わる新たな武家法として普及させた。

ウ. 鎌倉幕府が必要に応じて個別に発布した法令は式目追加と呼ばれ、室町幕府の法令も、建武年間以後の式目追加という意味で、建武以来追加と呼ばれた。

エ. 10世紀以後、律令・格式の編纂の後に朝廷から出された荘園整理令などの法令が故実と呼ばれた一方、鎌倉幕府による法令は新制と呼ばれて区別された。

オ. 建武の新政を始めた後醍醐天皇は、各地で勢力を拡大した武家を掌握するため、御成敗式目を踏襲し、武家社会における慣習・道徳を尊重する方針を示した。

問7 下線部④の史料は、御成敗式目の条文の一部を読みやすいように書き改めたものである。この史料から読み取れる内容として、適切な文章を次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. 幕府は、国司や荘園領主の命令に背いて守護役を務めようとする、荘園や公領の下司や荘官を積極的に保護する方針を示した。

イ. 幕府は、「右大将家御時の例」と呼ばれた平清盛の時代における朝廷や荘園領主の先例を、源頼朝の時代と同様に遵守した。

ウ. 幕府は守護の権限を強化する一方、国司や荘園領主の権限を抑制する方針を示し、幕府の権力の拡大を図った。

エ. 荘園や公領の下司や荘官の中には、国司や荘園領主の命令に従い、守護に対抗しようとする者が存在した。

オ. 幕府は守護の権限に制限を加え、国司や荘園領主の権限を侵犯しない方針を示した。

- 2 足利義満の時代には、武家の頂点に立つ将軍が朝廷の行事に参画する機会が拡大^⑤するとともに、公家や僧侶も将軍に出仕するようになった。この結果、将軍を中心とした各種の儀礼が整備され、室町幕府は武家に加えて公家や寺社をその内部に含んだ支配機構をつくりあげた。こうして足利将軍家の権威が確立する一方、将軍を補佐する管領や、京都内外の警備や刑事裁判を司る の長官（所司）を輩出する有力な守護家が固定化されるなど、足利氏一門をはじめとする武家の家格の序列化が進んだ。やがて、義満のあとを継いだ子の の時代になると、政治の運営は管領畠山満家ら有力守護等から成る宿老会議の合議が重んじられるようになり、^⑥将軍と有力な守護との均衡を保つことによって幕府の安定化が図られた。これに対して、 の没後に将軍となった弟の足利義教は、将軍権力の強化をねらって積極的に守護家の家督相続に介入し、専制的な政治を推進したが、それに反発した有力な守護の一人である ^⑦ によって殺害される嘉吉の変が起こり、その後は将軍の権力が大きく揺らぐようになった。

- 問8 下線部⑤について、朝廷の行事に足利義満を参画させることで朝廷の復興をめざす一方、『応安新式』の制定などを行った人物の姓名を漢字4文字で記しなさい。
- 問9 空欄Dに入る室町幕府の機関の名称を記しなさい。
- 問10 空欄Eに入る人物の姓名を漢字4文字で記しなさい。
- 問11 将軍足利義教の代始めに、民衆が売買や貸借関係の破棄を求めて京都の土倉・酒屋などを襲った事件が発生し、下線部⑥の人物はその鎮圧に関わった。この事件の名称を記しなさい。
- 問12 下線部⑦について、当時の状況を説明した適切な文章を、次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。
- ア. 当時の武家の多くは、所領などの単独相続が行われたことで、家督を継ぐ嫡子の立場が庶子に比べて絶対的優位となった。
- イ. 守護家の家督相続は、将軍が決定権を掌握していたため、一族や家臣同士の争いが起こりにくかった。
- ウ. 当時の武家の多くは、分割相続が繰り返されて所領が細分化されたうえ、貨幣経済の発展に巻き込まれて窮乏した。
- エ. 当時の守護は、特定の家に世襲されることが少なかったため、守護の地位をめぐる嫡子と庶子との対立は生じなかった。
- オ. 当時の武家の多くは、家督を継承した当主の下に庶子や国人・地侍が臣従して家中を形成しており、分国法が制定された。
- 問13 空欄Fに入る人物の姓名を漢字4文字で記しなさい。

Ⅲ 次の1から3の文章・資料について、それぞれの設問に答えなさい。解答は、漢字を用いるべきところは正確な漢字で記述解答用紙の所定の解答欄に記入しなさい。選択問題についてはマーク解答用紙の記号をマークしなさい。(24点)

1 濃尾平野を平定した織田信長^①は、足利義昭を擁して入京し、室町幕府を再興させた。当初は將軍の補佐役として振る舞ったが、次第に義昭との対立を深め、義昭を京から追放した。信長は各地の戦国大名や一向一揆勢力と対決しながら、主従関係の強化を図るとともに、「天下静謐」をスローガンに京・畿内の秩序を維持し、さらに全国統治に踏み出そうとした。信長は、A 寺を圧伏させる際に勅命による講和を図るなど天皇の権威を利用したが、晩年に朝廷から征夷大將軍を含むどれかの官職に就くよう働きかけられた際には、明確な返事をせず、間もなく本能寺の変で死去した。

豊臣秀吉は、山崎の戦いなどを経て信長の後継者の位置を確かなものとした。しかし、信長の次男信雄と結ぶ徳川家康と対立し、小牧・長久手の戦いが行われた。両者はやがて和解し、家康が秀吉に臣従の礼をとったものの、秀吉は家康の領国支配に介入できず、家康との政治的な緊張関係は豊臣政権の終わりまで続いた。秀吉は関白に任官し、天皇権威を積極的に利用した。武力討伐により諸大名を自己に従わせる一方で、関白として国家統治の任にあたったのである。この点で征夷大將軍として江戸に幕府を開いた徳川家康との違いが見られる。^②^③

問1 下線部①の信長は、都市や商工業の発達を重視する政策を打ち出した。信長が安土城下町に出した商工業者の自由な営業活動を認める法令の名称を漢字3文字で記しなさい。

問2 空欄Aには、信長が圧伏し、後に秀吉がその跡地に大坂城を築いたことでも知られる寺の名が入る。その寺名を記しなさい。

問3 下線部②に関連して、近世の天皇に関する説明として誤っているものを、次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. 後陽成天皇が聚楽第に行幸すると、これを機に豊臣秀吉は諸大名に自分と天皇への忠誠を誓わせた。

イ. 禁中並公家諸法度で、天皇は学問を修めることが重要だと取り決められた。

ウ. 後水尾天皇が徳川秀忠の娘を中宮とすると、幕府の勢力が朝廷内部に浸透した。

エ. 光格天皇の実父に対して太上天皇の称号を贈るよう幕府がすすめたが、朝廷はこれを拒否した。

オ. 孝明天皇は、アメリカとの通商条約調印をめぐり、勅許を求める老中堀田正睦の要請を拒否した。

問4 下線部③に関連して、徳川家康の外交政策に関する説明として正しいものを、次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. 支倉常長をスペインに派遣して通商交渉にあたらせた。

イ. 徳川家康と朝鮮国王との間で己酉約条が取り結ばれた。

ウ. 奉書船以外の日本船の海外渡航を禁止した。

エ. ウィリアム＝アダムズを外交顧問とした。

オ. スペイン船の日本への来航を禁止した。

2 当世の俗習にて、異国船の入津^(注1)は に限りたる事にて、別の浦へ船を寄する事は決して成らざる事と思えり。実に太平に鼓腹^(注2)する人と云うべし。…海国なるゆへ何国の浦えも心に任せて船を寄せらるる事なれば、東国なりとてかつて油断は致されざる事也、

…当時 に嚴重に石火矢^(注3)の備有りて、かえって , 相模の海港に其備なし、此の事甚だ不審、細かに思えば江戸の日本橋より唐、阿蘭陀^{オランダ}迄境なしの水路也、然るを此に備えずして にのみ備えるは何ぞや、

(注1) 船が港に入ること。

(注2) 危機を思わず、平和を楽しむこと。

(注3) 大砲。

問5 空欄Bは幕府が直轄する都市であった。空欄Bに入る地名を記しなさい。

問6 空欄Cには現在の東京湾入口の千葉県側に位置する国名が入る。その国名を記しなさい。

問7 上の資料に関連して、外国船や海防に関する説明として誤っているものを、次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. ロシア使節ラクスマンに幕府が冷淡な対応をしたため、ロシア船が樺太・択捉島を攻撃した。

イ. 海辺に近付く外国船を迷わず撃退するよう命じる異国船打払令が出された。

ウ. アメリカ商船モリソン号が浦賀沖で撃退された。

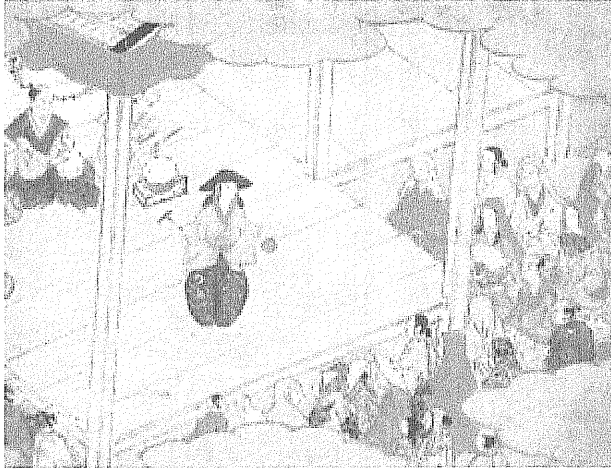
エ. アヘン戦争での清国の劣勢ぶりを知った幕府は、天保の薪水給与令を出した。

オ. 幕府は財政安定と対外防備を強化するために、江戸・大坂周辺を直轄地にしようとしたが、果たせなかった。

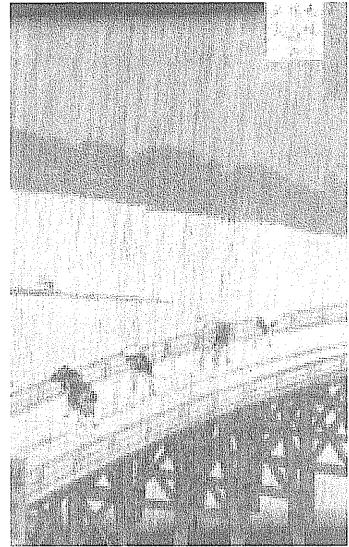
問8 上の資料を記した人物は、幕政批判を理由に処罰されている。この人物の姓名を記しなさい。

- 3 近世には、時期ごとに様々な文化が花開き、それに応じて多くの絵画や版画が生み出された。次に示す資料a～cもその例である。

資料a



資料b



資料c



問9 資料aに描かれた、京都でかぶき踊りを始めて評判となった女性の名前を漢字4文字で記しなさい。

問10 資料bの「名所江戸百景」や、「東海道五十三次」を制作した人物の姓名を記しなさい。

問11 資料cに描かれた社会現象の名称を記しなさい。

問12 次の資料の成立時期について、次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。



- ア. 資料 a より後で、資料 b より前
- イ. 資料 b より後で、資料 a より前
- ウ. 資料 b より後で、資料 c より前
- エ. 資料 c より後で、資料 a より前
- オ. 資料 c より後で、資料 b より前

Ⅳ 次の1・3の文章と2の史料を読み、それぞれの設問に答えなさい。解答は、漢字を用いるべきところは正確な漢字で記述解答用紙の所定の解答欄に記入しなさい。選択問題についてはマーク解答用紙の記号をマークしなさい。(26点)

1 1868年閏4月、政府は を定め、太政官と呼ばれる中央政府に権力を集中させた。政府は、1869年の版籍奉還後に職員令を制定し、太政官の外に神祇官をおき、太政官のもとに各省をおいた。つづいて、1871年に廃藩置県が断行されて全国^①の政治的統一が達成されると、太政官は正院・左院・右院の三院制となった。この官制改革によって、薩摩藩・長州藩など特定の藩の出身者が主要な官職につくことになり、藩閥政府の基礎が固められた。

1885年、政府機構の抜本的な改革が行われ、太政官制が廃止された。かわって導入されたのが内閣制度である。内閣制度は、議会開設に向けて行政府の体制を整えるために創設された。天皇が任命する内閣総理大臣が、各行政機関の長官である国務大臣^②を率いて内閣を組織した。初代内閣総理大臣には伊藤博文が就任し、国務大臣の大部分には藩閥政治家が任命された。内閣制度の発足に際して、宮内省の長官である宮内大臣は閣外におかれた。また、天皇を常侍輔弼する がおかれ、三条実美が就任した。これらにより、宮中と府中が区別された。

この間、地方制度も改革が進められた。政府は、1872年に大区小区制を施行し、1878年に郡区町村編制法・ ・地方税規則からなる三新法を制定した。さらに内閣制度発足後、1888年に市制・町村制、1890年に府県制・郡制が公布された。

問1 空欄Aに入る用語を記しなさい。

問2 下線部①に関する記述として誤っているものを次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. 薩摩藩などから提供された御親兵の軍事力を背景に廃藩置県は断行された。

イ. 廃藩置県によって知藩事は罷免され、かわって旧大名が府知事・県令に任命された。

ウ. 正院は、太政大臣・左大臣・右大臣・参議からなる太政官の最高機関である。

エ. 正院のもとに大蔵省・兵部省・外務省・文部省・司法省・工部省・宮内省等がおかれた。神祇官は、神祇省に格下げされ、太政官のもとにおかれた。

オ. 左院は立法審議機関、右院は各省の長官・次官からなる連絡機関である。

問3 下線部②について、大日本帝国憲法下における内閣制度に関する記述として正しいものを次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. 内閣総理大臣は、天皇及び議会に対して責任を負う。

イ. 内閣総理大臣は、議会に対してのみ責任を負う。

ウ. 内閣総理大臣・各国務大臣は、天皇及び議会に対して責任を負う。

エ. 内閣総理大臣・各国務大臣は、天皇に対してのみ責任を負う。

オ. 各国務大臣は、議会に対してのみ責任を負う。

問4 空欄Bに入る用語を記しなさい。

問5 空欄Cに入る用語を記しなさい。

2 史料は、『万朝報』1903年6月30日号に掲載された内村鑑三が執筆した記事の一部である。

余ハ日露非開戦論者^③である許りでない、戦争絶対的廃止論者である。戦争ハ人を殺すことである。爾うして人を殺すことハ大罪悪である。爾うして大罪悪を犯して個人も国家も永久に利益を収め得やう筈^{はず}ハない。(中略)勿論^{もちろん}サーベルが政權^を握^{にぎ}る今日^にの日本^にに於て余の戦争廃止論^が直^{ただち}に行はれやうとハ余と雖^{いえど}も望ま^おない。然しながら戦争廃止論ハ今や文明国の識者^{しきしや}の輿論^{よろん}となりつゝある。

(笹山晴生他編『詳説 日本史史料集』)

問6 史料は、日露開戦に反対して書かれたものである。日露戦争に関する記述として誤っているものを次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. 開戦前、日本が占拠していた満州をロシアへ引き渡すかわりに、日本の韓国での優越権を認めさせようとする「満韓交換」をとなえる政治家もいた。

イ. 1902年、日本はロシアの極東進出に備え、韓国における日本の権益を守るべくイギリスと同盟を締結した。

ウ. 1904年、日本とロシアの交渉は決裂して戦争が勃発し、日本は旅順での戦闘や奉天会戦及び日本海海戦に勝利した。

エ. 1905年、アメリカのポーツマスにて日本全権小村寿太郎とロシア全権ウイッテは講和条約に調印した。

オ. ロシアから賠償金をとれなかった講和条約に一部の国民の不満が爆発し、講和条約調印の日に暴動事件が発生した。

問7 史料の執筆者内村鑑三は、講師をつとめる第一高等中学校での式典においてある文書への拝礼を拒否したため、教壇を追われた。この文書の名称を記しなさい。

問8 下線部③について、『万朝報』が主戦論に転じると幸徳秋水と堺利彦は退社し、新たな新聞を創刊して非戦運動を続けた。その新聞の名称を記しなさい。

問9 下線部④は、内閣総理大臣が陸軍大将であることを比喻した表現である。当時の内閣総理大臣名を記しなさい。

3 太平洋戦争によって国民の生活は根底から破壊された。敗戦後、戦後処理の中で多額の紙幣が発行されたことによってインフレーションが進み、生活難が深刻化していた。これに対して、政府は1946年に を施行して通貨の緊縮をはかったが、一時的な効果を得ただけであった。

アメリカは、中国内戦で共産党が優勢となると、日本を東アジアの主要な友好国とすべく対日占領政策の方針を転換した。これを背景として1948年以降、GHQ

は日本の経済復興に向けて積極的な措置をとった。1948年、GHQは第2次吉田茂内閣へ経済安定九原則を示した。さらに翌年、GHQ経済顧問としてドッジが来日し、一連の施策（ドッジ＝ライン）を実施した。

1950年に勃発した朝鮮戦争にて、アメリカが日本から軍需品を大量に調達したことで日本経済は好況をむかえた。1951年には、工業生産・実質国民総生産・実質個人消費などが戦前の水準を回復した。また、日本は1952年に自由貿易体制を維持するための機関である ，1955年にGATTに加盟した。

1955年から1957年にかけて「神武景気」と呼ばれる好景気が起こり、日本経済は復興から成長段階へと移った。「神武景気」につぐ1958年から1961年の「岩戸景気」、さらには1965年から1970年の「いざなぎ景気」へとつづく長期の好況によって、日本経済は急速な成長を遂げた。こうした高度経済成長の中で、1968年には日本の国民総生産は資本主義諸国の中で第2位となった。

問10 空欄Dに入る法令の名称を記しなさい。

問11 下線部⑤に関する記述として誤っているものを次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. 経済安定九原則は、予算均衡、徴税強化、賃金安定、物価統制などにより、日本の経済的自立・安定をはかろうとするものであった。

イ. ドッジは、吉田内閣に対して柔軟な予算編成を認め、吉田内閣は支出が収入を上回る積極的な財政政策をとった。

ウ. ドッジは、1ドル＝360円の単一為替レートを設定して、国際競争の中で日本の輸出振興をはかった。

エ. ドッジ＝ラインによってインフレーションは収束したが、中小企業の倒産が相次ぎ、不況が深刻化した。

オ. ドッジ＝ラインによって行政や企業の人員整理が進められ、失業者が増大し、労働運動が激化した。

問12 空欄Eに入る機関の名称をアルファベット3文字で記しなさい。

問13 下線部⑥に関する記述として誤っているものを次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 池田勇人内閣は、国民総生産および一人当たり国民所得を2倍に拡大させることを目的とした国民所得倍増計画を立てた。
- イ. 1960年代後半以降、鉄鋼・船舶・自動車などを輸出の中心として、日本の貿易収支は大幅な黒字となり、外貨保有高が増加した。
- ウ. 高度経済成長期には、いわゆる大衆消費社会が形成され、人々の衣食住全般にわたって著しい変化が生じた。
- エ. 経済成長を優先したことで深刻な産業公害が発生し、公害を批判する世論が高まったことを背景として、公害対策基本法が制定された。
- オ. 高度経済成長期には、経済発展に重きをおく革新自治体が東京・横浜・京都などで成立した。

